

令和2年度つくばSociety 5.0社会実装トライアル支援事業

## オンライン本人確認技術を活用した 「行政手続きのデジタル化」を実証します



### 1 概要

つくば市は、株式会社TRUSTDOCK(代表取締役 千葉 孝浩)とともに、令和2年度つくばSociety 5.0社会実装トライアル支援事業の採択案件である、オンライン本人確認技術を用いた「行政手続きのデジタル化」の実証実験を行います。

本実証実験では、これまで紙で運用していたつくば市産業振興センター(つくばスタートアップパーク)のコワーキングスペース利用許可申請手続きをオンライン化することにより、「市民にとっての手続き簡略化」や「行政にとっての決定プロセス迅速化」、「申請誤り、虚偽申請、なりすましの防止」等の効果及び課題を検証します。今後、各種行政手続きのオンライン化を推進していきます。

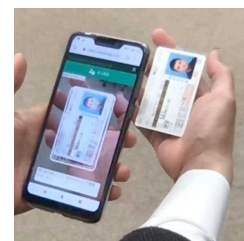
### 2 実施内容

- ・日時 : 令和3年3月9日(火)~19日(金)
- ・場所 : オンライン及びつくばスタートアップパーク(吾妻2-5-1)
- ・モニター : つくばスタートアップパークコワーキングスペース利用者 約80名
- ・方法 : 期間中、申請専用端末を設置し、申請者の端末または専用端末から、申請フォーム入力とオンライン本人確認(専用アプリで運転免許証や健康保険証など、身元確認書類を読み取り)を実施。

### 3 デモンストレーション取材について

つくばスタートアップパークにて、スタートアップ推進室担当職員が申請専用端末を使用し、申請方法をご説明します。

- ・取材可能日時 : 令和3年3月11日(木) 13:00~15:00  
令和3年3月15日(月) 13:00~15:00
- ・取材を希望される場合は、**令和3年3月10日(水)正午までに**下記問合せ先へ「お名前、ご所属、ご連絡先、取材予定日時」をご連絡ください。(※取材の申込件数によっては、複数社ご一緒に取材対応させていただくことがあります)



オンライン  
本人確認イメージ

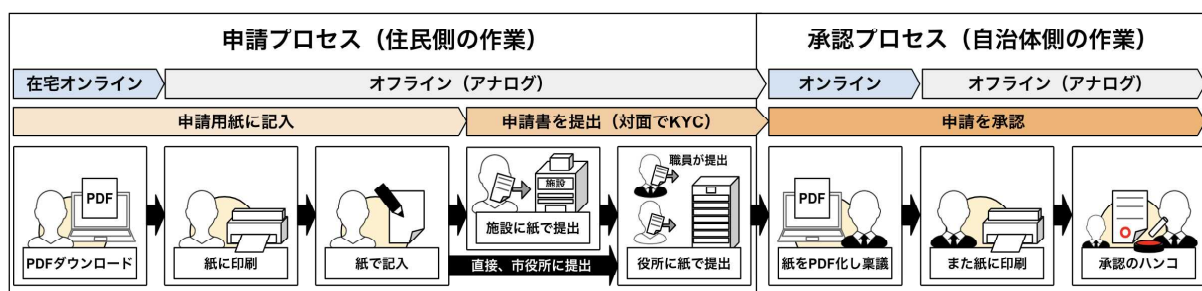
# TRUSTDOCK、デジタル身分証アプリと法人eKYC<sup>※</sup>を組み込んだ専用CRMによる「つくばスタートアップパークの利用申請デジタル化」実証を開始

～ 個人&法人eKYCを活用した、在宅完結する行政手続きの実証実験 ～

株式会社TRUSTDOCK(本社:東京都千代田区、代表取締役:千葉 孝浩、以下 TRUSTDOCK)は、令和2年度つくばSociety 5.0社会実装トライアル支援事業『With/Afterコロナの生活スタイル』の実証実験において採択され、この度、つくばスタートアップパークの利用申請を在宅オンラインで完結する実証実験を開始します。

これにより、つくばスタートアップパークを利用する法人及び個人は、自治体の窓口で申請書を提出しに行かなくても、在宅にて申請手続きが完了することで、「ペーパーレス化」と「窓口の三密回避」、「申請時間の短縮」等、デジタルファーストによる恩恵を享受することが可能になり、その後の自治体側の作業負担軽減にも貢献します。

## これまでの申請プロセス



まずは住民側の作業をデジタル化  
(在宅で申請手続きが完結するプロセスに変更)

## TRUSTDOCK利用による、在宅完結するデジタル申請プロセス (実証実験)



## デジタル化による住民側のメリット

- ・申請手続きが在宅で完結する(土日も含め24時間いつでも申請可能)
- ・WEB申請のため、プリンターでの印刷が不要(記入ミスでの再印刷等も不要)
- ・申請書の郵送や、窓口での提出が不要(封筒や切手等の郵送料不要、窓口の三密回避)
- ・法人利用時も法人番号と法人名で法人確認可能(登記簿謄本の取得費用や準備が不要)

※ eKYC : electronic Know Your Customerの略で、オンラインで本人確認を行うもの

## 民間の身元証明機関、TRUSTDOCKが提供するKYCサービスにて実現

TRUSTDOCKはKYCの専門機関として、行政手続きや各種業法を問わず、手続きや取引時の法人確認や本人確認をデジタル化する様々なサービスを提供しています。今後もデジタル・ガバメント構築を民間から促進するため、様々な自治体とデジタル化の取り組みを進めていきます。

### KYCの専門機関として、提供しているサービス・プロダクト群

eKYC全対応のデジタル身分証アプリ  
「TRUSTDOCK」



iPhone   
Android

KYC書類提出専用JavaScript  
「TRUSTDOCKアップローダー」



パソコン   
スマホ

アプリ&APIが連携済みの継続的顧客管理  
「TRUSTDOCK-CRM」



iPhone  パソコン  ノーコード/開発無しSaaS   
Android  スマホ  追加カスタマイズ可能

多様なKYCのAPI群  
KYC as a Service

 個人身元確認 eKYC/KYC	 法人確認 eKYC/KYC	 個人番号取得 通知カード、住民票	 補助書類確認 住民票、口座、委任状	 AMLリスク確認 記事DB、人物DB	 郵送物 ハガキ、封筒
---	---	--	--	--	--

24時間365日稼働の目視確認業務も完備し、年間100万件以上を処理する社会インフラ

### KYC as a Service「TRUSTDOCK」について

KYC as a Service「TRUSTDOCK」が提供している、日本で唯一のデジタル身分証アプリとe-KYC/本人確認APIサービスでは、犯罪収益移転防止法をはじめ、携帯電話不正利用防止法、古物営業法、労働者派遣法、出会い系サイト規制法、民泊新法など、各種法律に準拠したKYCをAPI組み込みのみで実現します。

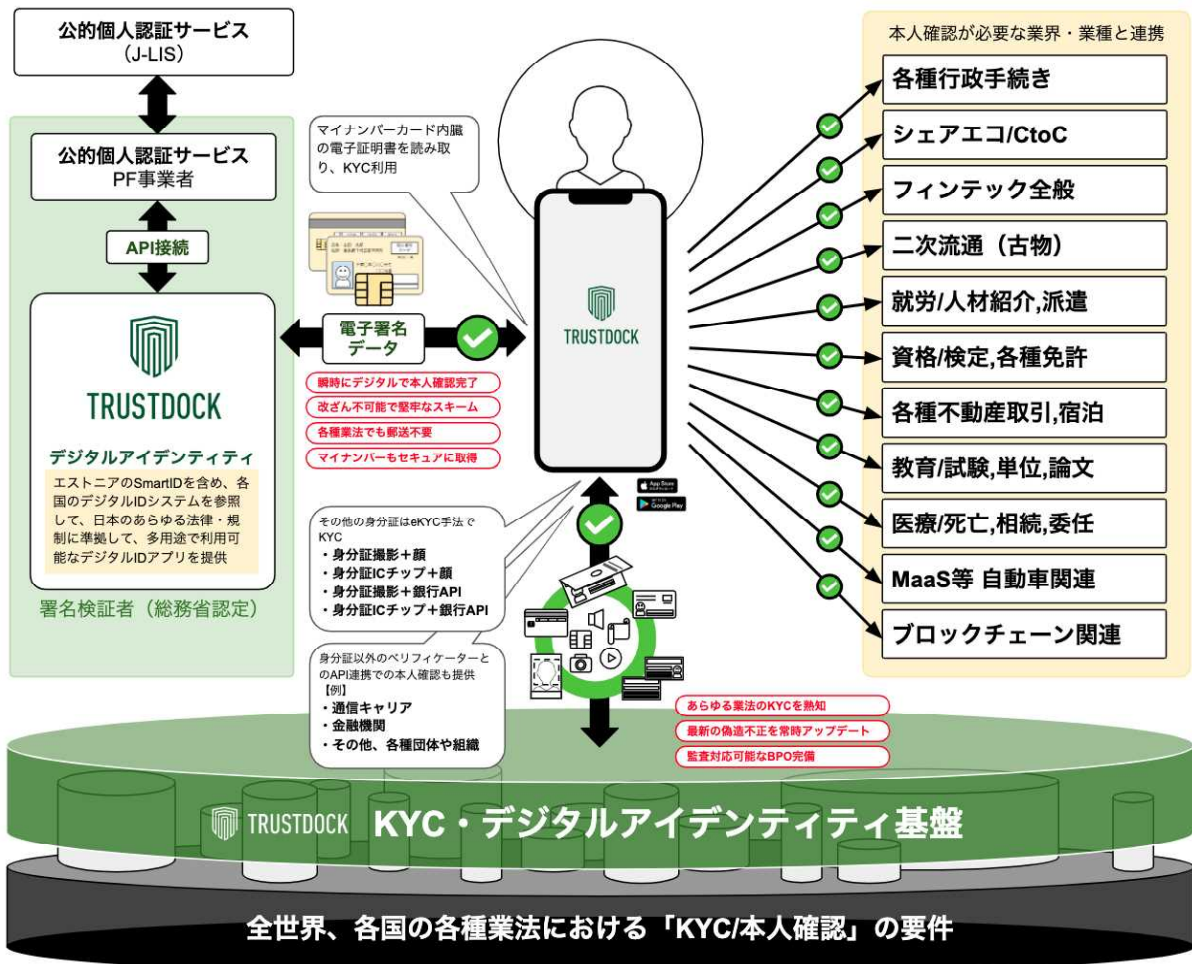
これにより、サービス事業者は本人確認用の管理画面の開発や、オペレータの採用・教育、24時間体制でのシフト管理を行うことなく、低コストで本人確認を行うことが可能です。

また、オンラインで会員登録を行うあらゆるIDサービスやプラットフォーム、または既存で顧客DBがある事業者なら、業態や規模の大小を問わずご利用可能です。事業者のサービスIDをお持ちの個人の方の「本人性の証明」を、システムにAPIを組み込むだけで、フルデジタル且つ法律に準拠した形でご提供します。

独立した様々なAPI群を用意しているため、新規アカウント開設時だけでなく、不正検知時の取引時確認、定期的な顧客確認、休眠口座からのアクティベートなど、事業者様の業務フローに合わせて、必要なタイミングで必要なAPIを実行できます。

そして、犯収法改正にあわせて、郵送不要でネット完結の本人確認を実現するeKYC専用ソフトウェアである、デジタル身分証アプリ「TRUSTDOCK」では、施行規則六条一項「ホ／ヘ／ト／チ」をはじめ、公的個人認証による「ワ」など、あらゆる本人確認手段を内包した身分証専用のアプリであり、「運転免許証／運転経歴証明書／パスポート／マイナンバーカード／住基カード／在留カード／特別永住者証明書」など幅広い本人確認書類に対応している唯一のデジタル身分証アプリです。

デジタル身分証アプリとセキュアにAPI連携するKYCプラットフォームとして、国内外を問わず、広くデジタルアイデンティティ基盤の構築を行い、社会に貢献していきます。



## 【関連URL】

e-KYC/本人確認APIサービス - KYC as a Service「TRUSTDOCK」

<https://biz.trustdock.io/>

## 【会社概要】

社名：株式会社TRUSTDOCK (TRUSTDOCK Inc.)

所在地：東京都千代田区平河町2-5-3 Nagatacho GRID

代表者：千葉 孝浩

URL：<https://biz.trustdock.io/>

## 【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社TRUSTDOCK

担当：葛巻

E-mail：[inquiry@trustdock.io](mailto:inquiry@trustdock.io)